

デザイン情報学科

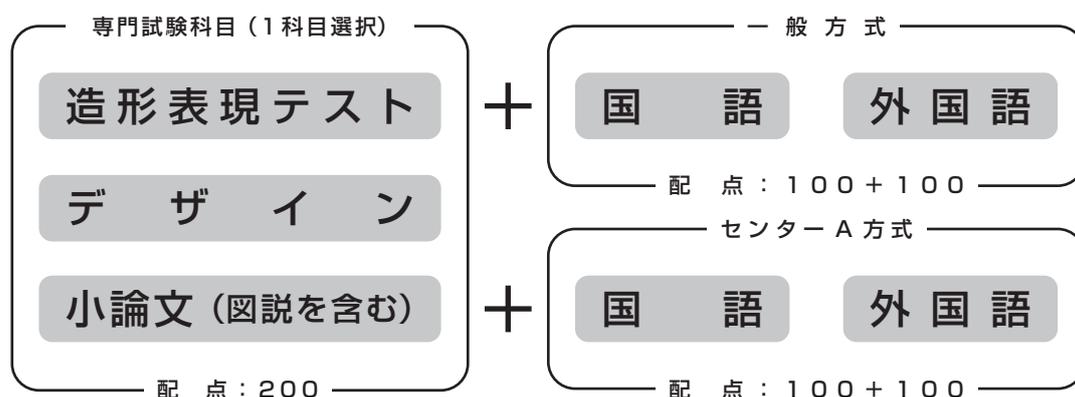
2019年度一般入学試験の専門試験科目について

デザイン情報学科は、次代に活躍するクリエイターを育成すべく、設立当初より、構想力に力点を置いた「造形表現テスト」および論理的思考力を試す「数学」を専門試験科目としてきました。

また、2011年度から文科系の受験生にも、造形表現やデザイン情報学に参画する可能性を開くため、「小論文(図説を含む)」を加え、3科目から1科目を選択して受験する入試方式でした。

2019年度より、「数学」は従来のセンターB方式で「数学重点評価」^{※1}する方法に移行し、新たに配色と構成の表現力を問う科目「デザイン」を設置し、専門試験科目は「造形表現テスト」「小論文(図説を含む)」「デザイン」の3科目から1科目を選択して受験する方式とします。

また、配点は専門試験科目 200点、国語 100点、英語 100点(センターA方式も同様)になります。



「デザイン」の出題概要

● 形式

「デザイン」は、他学科の「デザイン」と同様、不透明水彩絵具を使用する色彩構成の試験科目になります。その「デザイン」の問題は、配付されたモチーフを自由に使って色彩構成する形式とします。試験時間は3時間です。

● 携行用具

鉛筆、消具、カッターナイフ、直定規、三角定規、コンパス、烏口、不透明水彩絵具、筆、筆洗、絵皿、パネルまたはカルトン [36.4cm×51.5cm 以

上]、画鋏またはクリップ、色見本帳、マスキングテープ、その他デザイン用具 (スケッチブックやスクラップブック等の素材集の使用は認めません。)

● 出題意図

配付モチーフの形状・質感などの特徴をとらえ、色彩構成としてユニークな表現を期待します。

● 評価のポイント

1. 発想力、2. 配色能力、3. 構成力、4. 作業の計画性と丁寧さを総合的に評価します。

※1: センターB方式の「数学重点評価」については、武蔵野美術大学公式サイト「入試情報」の「入学試験の変更点」でご確認ください。
(URL: <http://www.musabi.ac.jp/admission/note/>)

問題と答案のサンプル

デザイン（3時間）

【問題】

与えられたモチーフの形状や質感を観察し、「光」を感じる色彩構成をなさい。

【条件】

1. 答案用紙は横長使用とし、枠内に構成すること。
2. 色数は自由。
3. 白色は用紙の地色か、絵具の白、どちらでも良い。

【配布物】

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3 ケント紙）× 1 枚
3. シャンパングラス×1 個
4. 下書き用紙（B4 上質紙）× 4 枚

【解答例】

【出題意図】

シャンパングラスがもつ曲線、光の屈折や反射、透明感を色面構成として捉えながら、モチーフを自由に組み合わせた空間構成や視点のユニークさを求める問題です。

